



2003年度
環境レポート



2004年1月28日

 株式会社 **フォーミット**
FOURMIT

環境方針

1. 事業活動の全ての領域で、省エネルギーの推進、排出物の減量化、資源の有効利用などを行い、環境保全に貢献します
2. 環境保全の理解を深めるため、社内外の関係者に環境管理活動を推進します
3. 省エネルギーなど、環境負荷の小さい製品の技術開発に努めます
4. 国や地域において定められた法律や規則を遵守すると共に、一層の継続的改善と維持管理に努めます

2003年5月26日

株式会社 フォーミット

代表取締役 中林 康二

1. 事業活動の概略

- ・ 事業所名

株式会社 フォーミット

- ・ 所在地

大阪府豊中市原田元町2 - 21 - 4

- ・ 環境保全関係の責任者及び担当者

責任者 代表取締役 中林 康二

担当者 プランニンググループ 谷 昌憲

- ・ 連絡先

T E L (06)6845-4310

F A X (06)6842-3510

- ・ 事業内容

各種自動省力機及び、一般産業機器の設計・製造・販売
各種制御システム設計

- ・ 事業規模

名称	単位	2001年	2002年	2003年
売上高	百万円	430	320	307
社員数	人	12	12	12
事務所延床面積	m ²	228	228	228
工場延床面積	m ²	77	77	77
総延床面積	m ²	305	305	305

2. 環境目標とその実績

環境目標

二酸化炭素排出量の低減

2004年度末までに2001年度の排出量より15%削減します。

廃棄物の抑制

2004年度末までにコピー用紙購入量を2002年度の購入量より15%削減します。

リサイクルの推進

2002年度よりゴミの分別品目を増やし、順次リサイクルできるようにします。

グリーン購入の推進

2004年度末までに事務用品購入費の75%以上をエコマーク商品等、環境負荷を考慮した物を購入していきます。

環境実績

項 目	単 位	2001 年	2002 年	2003 年
電力使用量	MJ/年	356,354	322,768	316,870
ガソリン使用量	L/年	4890	1857	2965
二酸化炭素排出量	kg-co ₂ /年	25,057	16,723	19,070
排水量	m ³	145	143	208
廃棄物量	kg/年	-	-	973
(内、コピー用紙廃棄量)	kg/年	-	-	85
売上高当たりの廃棄物量	kg/億円	-	-	317
コピー用紙購入量	kg/年	-	448	390
リサイクル率	%	-	-	66.6
グリーン購入率	%	-	70.0	67.8

集計期間：1月～12月

3. 主要な環境活動計画の内容

二酸化炭素排出量の低減

- ・ 昼休みの消灯を徹底して行います
- ・ 事務所内の照明を効率の高い蛍光灯に順次交換していきます
- ・ 休日出勤時なども含め空調を必要最小限に留めます

廃棄物の抑制

- ・ 裏紙使用による両面コピーを徹底して行います
- ・ メールによる発注業務や資料保存形式の見直しによるペーパーレス化を促進していきます

- ・ 各自のカップ等を用意するなど、使い捨て容器の使用を減らします
- ・ 仕入れ先に納品物梱包材の回収を依頼していきます

リサイクルの推進

- ・ ペットボトルの回収箱を増やし最寄りの回収 BOX に投棄します
- ・ 製品の出荷梱包ではクッション材やダンボールなどの再使用や、簡易包装を心がけていきます

グリーン購入の推進

- ・ コピー用紙は、古紙を配合した再生紙に切り替えます
- ・ OA機器やサプライ品購入の際は、エコマーク商品や分解廃棄できるもの、並びに繰り返し使用できるものなどの環境負荷低減商品を購入していきます

4. 環境保全活動の取組結果の評価

取組結果

二酸化炭素排出量の低減

2003年度の二酸化炭素排出量は、具体的取組を各自が意識し実行していることで低減しています。

ところが、「ガソリン使用量」は出張が増えた為に車の使用が多くなり、2002年度より増加しています。

そこで、これら要因を抑制する為、低燃費車の購入検討や長距離となる出張では電車等による移動を呼びかけていきます。

廃棄物の抑制

コピー用紙購入量は、書類関係のデータ化によりプリントアウト数が減り、削減効果が出てきています。

目標の2004年末まで順調に進行すると思われ、引き続き取り組んでいきます。

また、年間を通して廃棄物排出量が確認できましたので、現目標を廃棄物の抑制から低減へ変更し、2003年度売上高当たりの排出量317kg/億円を2004年度には、10%減の285kg/億円まで低減するようにします。

リサイクルの推進

各自がごみの分別に馴れ定着・浸透した感があります。

その為、回収業者に引き渡しもスムーズに行えるようになりました。

また、年間を通して廃棄物排出量からリサイクル率が66.6%と確認できましたので、2004年度末にはこれを70.0%に引き上げる事を目標とします。

グリーン購入の推進

再生資源を使用したコピー用紙の切り替えを行いました。今年度は昨年よりも下回る結果となりました。この要因として購入履歴を振り返ると、エコ商品の価格が高い為に、一般的に流通している安価な商品を購入している事が推進を妨げています。次年度はそのような事が低減できるようにエコ商品の価格見直しを行い、またラインナップの増加を考えカタログ収集するなど、より一層のエコ対象商品の開拓に努めていきます。

全体評価

今年度、環境への影響度合いが指し測れるデータが確認出来ただけではなく、業務改善から経費削減への手掛かりとなる事も解りました。

来年度はこれら事柄やデータを基に、より一層の環境負荷低減並びに業務改善も視野に入れて取り組んでいきます。

5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

・ 主な環境関連法規と該当する事業内容

関連する法律等名称	該当する事業内容
環境基本法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出函作業 ・ 組み立て作業 ・ EA21 などの取組
循環型社会形成促進基本法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物分別処理 ・ リサイクル運動
環境影響評価法	<ul style="list-style-type: none"> ・ EA21(パイロット事業)
地球温暖化対策の推進に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力消費 ・ 社有車の走行 ・ 植樹等の取組参加
特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律	
特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社有車の廃車処分 ・ エアコンの入れ替え

関連する法律等名称	該当する事業内容
大気汚染防止法	・ 社有車の走行
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法	・ 社有車の走行
水質汚濁防止法	・ 排水
湖沼水質保全特別措置法	
悪臭防止法	・ 日常業務
騒音規制法	・ 日常業務
廃棄物処理法	・ 廃棄物回収 ・ リサイクル運動 ・ 設計
資源の有効な利用の促進に関する法律	・ コピー用紙、裏紙使用の促進 ・ リサイクル運動
特定家庭用機器再商品化法	・ 特定家庭用機器廃棄物の発生 (テレビ, 冷蔵庫, エアコン等)
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	・ 出荷梱包 ・ 通い箱(図面ファイル等)
エネルギーの使用の合理化に関する法律	・ 設計業務全般 ・ 輸送 ・ 郵送物
新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法	・ 電力消費
環境物品調達促進法	・ グリーン購入
環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	・ 教育環境の構築

・ 違反、訴訟の有無

これら環境関連法規及びその他苦情等について、関係機関等から指摘事項はありませんでした。